

# 農業環境研究推進会議の開催

## 企画調整部 研究企画科

平成 15 年度農業環境研究推進会議が、2 月 26 ~ 27 日に、農林水産省行政部局、独立行政法人および都道府県の研究機関関係者の出席の下に開催された。農業環境研究の一層の推進を図るため、農業環境研究についての要望などを受けるとともに意見交換を行った。

### <本会議>

本会議は、所外の 30 名、所内の 28 名が出席して開かれた。平成 15 年度の研究推進状況、行政部局からの要望への対応状況、平成 16 年度のプロジェクト・研究会の予定などを報告したあと、農業環境研究に対する要望を聞いた。主な要望は以下の通りであった。

地球温暖化対策推進大綱の見直し、バイオマス・ニッポン総合戦略の推進、外来生物規制関係法の成立、カドミウムの Codex 対応および農薬取締法の改正などのための技術的アドバイスやデータの提供。

地球温暖化影響予測や硝酸性窒素の溶脱量予測、メタンや亜酸化窒素の発生量削減技術、生物機能を活用した農薬削減技術およびカドミウムの浄化技術の開発、ドリ系農薬の残留問題などに係る課題の研究協力。

農研機構の地域農業研究センターや都道府県の研究機関と農業環境に係わる研究課題および研究成果の情報交換。

### <研究推進部会>

研究推進部会は、所外の 30 名、所内の 41 名が出席して開かれた。「温暖化が農業に及ぼす影響評価と軽減対策への取り組み」の議題で、8 名が話題提供をしたあと、活発な討論が行われた。

話題提供者

嘉多山 茂 農林水産省大臣官房企画評価課  
参事官

松井 康雄 岐阜県健康福祉環境部参事

角田新二郎 関東農政局生産経営流通部  
農産課農産機械係長

北野 順一 三重県科学技術振興センター  
農業研究部伊賀農業研究室  
石郷岡康史 農業環境技術研究所地球環境部  
気象研究グループ  
岡田 邦彦 野菜・茶業研究所葉根菜研究部  
作型開発研究室長  
杉浦 俊彦 果樹研究所生理機能部  
環境応答研究室

今井 勝 明治大学農学部作物学教室教授  
温暖化により白未熟粒の発生に代表されるコメの品質低下が顕在化しており、温暖化がコメや農作物生産に及ぼす影響が極めて深刻な問題になりつつあることが認識された。

温暖化の過程で、年々の気候の変動も大きくなり、特に野菜の安定栽培において異常気象との関係が重要である点が指摘された。

温暖化による降雪量の減少が農業水資源に影響を及ぼす可能性から、農業者や国民一般に対し温暖化影響と対策を認識させる重要性和問題点について、広範な議論があった。最後に、多様な過程を通して温暖化の影響が及ぶため、総合的な研究が不可欠であることが指摘された。

### <評価部会>

評価部会は、所外の 13 名、所内の 28 名が出席して開かれた。農業環境技術研究所から提出された 36 課題が主要成果として採択され、都道府県の研究機関から提出された 5 課題とともに農業環境研究成果情報第 20 集として公表された。

